



トップメッセージ

# 「道路」を通じて持続可能な社会のために貢献してまいります。



代表取締役社長  
藪田 英俊

## ■ 安全・安心な社会づくりのために

わが国経済は、ようやく景気回復の兆しが見え始め、建設業界を取り巻く環境も堅調な公共工事に加え、民間需要も好調に推移しつつあります。

こうした環境の中、東日本大震災からの復興、防災・減災、老朽化が進む社会インフラの維持管理・更新など、果たすべき建設業の役割は、ますます重要性を増しています。

一方、2014年、品確法をはじめとする「担い手3法」が改正され、建設業が将来にわたって持続的に発展するために、建設工事の予定価格の適正な設定やダンピング受注の防止、建設業に従事する者の労働環境改善等の施策が講じられました。このような

公共工事の品質確保とその担い手の確保に向けた国の取り組みに、当社も積極的に対応していく必要があります。

安全・安心で豊かな社会の実現のため、「道路」を通じて社会貢献を続けてまいります。

## ■ 「中期経営計画(2015年度～2017年度)」について

当社は、2015年3月、「中期経営計画(2015年度～2017年度)」を策定しました。

2015年度よりスタートする「中期経営計画」は、「着実なる成長を目指して」をスローガンとし、前中期経営計画の方針である収益力を高めることを継承



しつつ、さらに人の集う働きがいのある会社とすること、また同時に2020年東京五輪後の経済情勢においても、当社が発展し続けるための素地を作ることを基本方針に掲げ、コンプライアンスの強化およびブランドイメージの向上等を盛り込んだ計画としています。

「必要とされる企業」であり続けるために、成長のための施策を着実に推進し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

## 環境への取り組み

当社は、「自然と社会と人に深くかかわる企業として、人々のためにより良い環境を創造する」という企業理念のもと、環境に配慮した事業活動を進めています。

2015年4月、主にコンクリート廃材などの産業廃棄物を再利用する「城南島リサイクルセンター」を開業しました。当センターは、全施設を屋内に設置することで近隣への環境に配慮し、また今後の建設需要の高まりで、増加が見込まれる首都圏の廃棄物問題の解決の一端を担っています。リサイクル施設を通じて循環型社会の発展に貢献できるよう努力してまいります。

都市圏における路面温度上昇の抑制機能を有する保水性・遮熱性舗装は、路面温度を低減でき、ヒートアイランド現象の緩和が期待できます。2020年東京五輪の「アスリート・観客の暑熱対策」としても注目を集めており、当社としてもこの環境技術を引き続き推進してまいります。

地球温暖化対策もまた重要な課題と捉え、CO<sub>2</sub>排出量の削減など環境負荷の低減に取り組み、地球環境にやさしい事業活動を展開してまいります。

## 将来を支える人材

建設業界では、社会インフラ整備、災害対応など建設業が担う役割が拡大する一方で、技術者・技能労働者の高齢化、若手入職者の減少といった人手不

足が深刻な問題となっています。将来を支える人材の確保・育成のために労働条件・労働環境の改善など早急な対策を講じる必要があります。こういった現況を踏まえ、当社では、若手社員を中心と



したOJT教育の充実、人員の適正配置による効率化、ゆとりを創出するための休日取得の推進、女性活躍の場の拡大等、多様な人材が継続的に活躍できる職場づくりを進めています。また、広報活動を通じて建設業の魅力や役割を伝えていきたいと考えています。

これからの建設業の健全な発展のため、一人ひとりが能力を発揮し、生き生きと働ける環境づくりを推進してまいります。

## 持続可能な社会のために

当社は、全国各地にある事業所において、現場見学会の開催や地域行事への積極的な参加、清掃作業などのボランティア活動で、地域との交流を深めてきました。現場での作業の安全面については、社員一人ひとりが安全への意識を高め、管理を徹底して行い、労働災害の防止に努めています。

これらの事業活動を通じて、地域社会と信頼関係を築くと同時に、「ものづくり」のすばらしさや大切さを発信し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

このたび、「CSR報告書2015」に当社の活動をまとめましたので、ご一読いただければ幸いです。

皆様のご理解とご支援、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

2015年10月